

大砂土東小は、創立 95 周年を迎えました。



令和8年
4月
学校だより
「自立と感謝」
～心ゆたかに かしこく たくましく～

さいたま市立大砂土東小学校
048(684)8003
令和 8 年 4 月 8 日発行

令和 8 年度の大砂土東小学校は

校長 石川 顕一



▲ 入学・進級おめでとうございます

4月からの新しいスタートを祝福するために、桜は頑張っ
て咲き続けてくれたようです。お子さんのご入学、
ご進級誠にありがとうございます。

令和8年度は、1年生114名4学級、
2年生132名4学級、3年生106名4学級、
4年生141名5学級、5年生134名4学級、
6年生136名4学級、ひまわり学級27名5学級、
合計790名30学級でスタートします。昨年度末と比
べて、311名7学級減少しました。学校の規模が小さくなりましたが、皆
さんのお力もお借りして活気あふれる学校にしたいと存じます。

また、今年度は創立95周年となります。昨年度に続き、節目の年
を迎えております。小規模ではありますが記念事業の実施にあたりま
しては、皆様方のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたしま
す。

さて、令和8年度の本校の教育目標は「**自立と感謝 ～心豊かに かしこく たくましく～**」
です。これは、しなやかに「自らの人生を舵取りできる力」を育むこと、
自分の存在を支える「ひと」「もの」「こと」に対して感謝する態度を
育むことをねらいとしています。そして、この自立と感謝を身に付け、
デジタル時代に主体的に社会参画する「民主的な社会の創り手」
になることを願っています。

指導の重点・努力点は次の5点です。本市の施策、学校運営協議会委員
を始め多くの方々のご意見をもとに策定しました。

1 学びの質の向上

- (1) ICTを生かした自立した学びの充実 (2) 体験活動、交流活動の推進

2 安心安全な環境の保全

- (1) 施設設備の点検と計画的な修繕の実施 (2) 児童の命に係わる危機管理の徹底

3 地域とともにある学校づくり

- (1) コミュニティ・スクールの推進 (2) 積極的な情報発信

4 教職員の資質の向上

- (1) 今日的課題に関する研修の実施 (2) 授業力の向上を図る研修

5 子どもの発達・心のサポート

- (1) 子どもたちの困り感の把握、対応 (2) 豊かな心の醸成

最後に、「ありがとう」「おかげさまで」を数多く使うという昨年度の取組は、今年度も継続してまいります。互いが感謝の気持ちをもって生きていくという考え方を、大砂土東小学校の子どもたちやその成長を支える大人たちでさらに醸成していきたいと存じます。このような人たちであふれ、誰もが幸せ (Well-being) に生きていける地域にしたいと願っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

令和 8 年度の教育課程の主な変更点

- 1 運動会の実施時期を春から 10 月下旬に変更します。これにより、熱中症のリスクを軽減することができます。
- 2 2 学期末の個人面談を希望制にします。面談を希望されないご家庭の負担を軽減します。今年度も 2 学期末に限らず年間を通して教育相談ができる機会（「にここ相談日」等）を設けます。
- 3 1、2 年生の「遠足・集団宿泊的行事」の行き先を「市民の森」に変更し徒歩で移動します。行き先が近くなっても、ねらいを十分に達成することができます。また、5 年生では、館岩自然の教室（集団宿泊的行事）に一本化し、校外学習は行いません。
- 4 1・2 時間目の間の休み時間、3・4 時間目の間の休み時間を 5 分から 10 分に延長しました。トイレや教室移動の時間に余裕をもたせ、45 分間の授業時間を確保します。これに伴って登校時刻や下校時刻を変更することはありません。
- 5 水曜日の朝に、読書タイムを設けました。「短い時間でも本を開く」という行動で、本が日常の一部になり、読書の習慣づくりに効果があると考えています。他者の生き様や考え方に触れること、新たな知識を身に付けることを楽しんでほしいです。
- 6 2 学期以降、中学年でも一部教科で教科担任制を始めます。児童の一人ひとりの特性を理解した学級担任による日常生活の指導と、担当教科の指導方法について深く研究した教員による授業とをバランスよく取り入れていきます。



▲ 子どもたちを待つ教室